

# 4. ステップ2(活用編I)

## 1. フィンガードコードで演奏

フィンガード機能を使って、自動伴奏させてみましょう。フィンガード機能を使う場合は、普通のコードの押え方で低音側の鍵盤を弾きます。なおフィンガード機能を使った場合は、シングルフィンガード機能を使った場合に比べて、より多くのコードを使い分けができるため、演奏しようとする曲が持つ本来の微妙な雰囲気表現しやすくなります。

### ① フィンガードコード演奏可能状態に

オートベースコードスイッチをフィンガードの位置に切り替えます。



★フィンガードの状態にすると、高音側の同時発音数が少なくなります。

### ② 高音側の音色指定

高音側の鍵盤を弾いた時に鳴るようにする音色を、ボイスセレクトボタンで指定します。

★デュアルボイス機能もオンしている場合は、この状態で、高音側の2音色分を指定してください。続けて指定すればOKです。

★低音側(オートベースコード用鍵盤)を弾いた時に鳴る音の音色は、指定した伴奏スタイルによって自動的に決まります。

### ③ 伴奏スタイル番号の指定

自分が演奏しようとする曲に最も適した伴奏スタイル番号を指定します。

### ④ 音量調節

低音側(伴奏音)の音量はアカンパニメントボリュームボタンで、高音側の音量はボイスボリュームボタンで調節します。また、全体的な音量はマスターボリュームで調節します。

### ⑤ スタート

スタート方法を選択します。スタート方法には大きく分けて、スタート、シンクロスタート、イントロスタートの3種類があります。

### ⑥ 演奏の開始

演奏を開始します。なお、自動伴奏は低音側の鍵盤(オートベースコード用鍵盤)を押した時点でスタートします。

★低音側の鍵盤から指を離しても、そのコードの伴奏が続きます。つまり低音側の鍵盤は、コードを変える時だけ押せばOKです。

★コードを変える時、鍵盤から指を離さないで動かすと、コードが思いどおりに変わらないことがあります。鍵盤から指を一旦離した上で、次の鍵盤を押すようにしてください。

★フィンガードの場合は、次の13種類のコードを検出できます。その他のコードは、これらのコードに置き換えて押してください。(19、20ページの“フィンガードコード一覧表”を参照)

- ・メジャー
- ・マイナー
- ・セブンス
- ・マイナー セブンス
- ・メジャー セブンス
- ・オーギュメント
- ・ディミニッシュ
- ・シックス
- ・マイナー メジャー セブンス
- ・マイナー セブンス フラット ファイブ
- ・マイナー シックス
- ・セブンス サスフォー
- ・セブンス フラット ファイブ

★シックス、マイナーシックス、セブンスフラットファイブコードは、基本形で押さえた場合のみ検出されます。

★オーギュメントコードおよびディミニッシュコードは、押さえた鍵盤の最低音が根音となります。

★13種類のコード以外や押鍵ミスの場合は、正しい和音で鳴らなくなります。

★演奏中にシンクロスタートボタンを押すと自動伴奏が止まり、低音側の鍵盤を押すと再びスタートします。ブレークの時に便利です。

### ⑦ パートオフ操作

パートごとに、音を鳴らすか鳴らさないか指定できます。鳴らしたくないパート音に該当するアカンパニメントパートボタンを押して、ボタン左上のランプを消灯させてください。

### ⑧ 演奏の終了

ストップボタンまたはイントロ/エンディングボタンを押して演奏を終了します。

# ●練習曲

シングルフィンガーコードまたはフィンガードコードで、「ラブ・ミー・テンダー」を弾いてみましょう。

## ラブ・ミー・テンダー (LOVE ME TENDER)

作詞・作曲：F. Presley & V. Matson

### ●セッティング

リズム	テンポ	オートベースコード	高音部音色
08 ロック/バロック	J = 98	シングルフィンガーまたはフィンガード	30 クラリネット

日本音楽著作権協会(社)許諾第8872619-80号  
Copyright © 1956 by ELVIS PRESLEY MUSIC, INC.  
Rights for Japan assigned to CHAPPEL/INTERSONG K.K.


### シングルフィンガードコード


### フィンガードコード


# フィンガードコード一覧表


\*マークの付いたコードは転回形、それ以外は全て基本形で書かれています。


## メジャー コード


C 


C<sup>♯</sup>  
(D<sup>♭</sup>) 


D 


D<sup>♯</sup>  
(E<sup>♭</sup>) 


E 


F 


F<sup>♯</sup>  
(G<sup>♭</sup>) 

G 


G<sup>♯</sup>  
(A<sup>♭</sup>) 


A 


A<sup>♯</sup>  
(B<sup>♭</sup>) 


B 


## マイナー コード


Cm 


C<sup>♯</sup>m  
(D<sup>♭</sup>m) 


Dm 


D<sup>♯</sup>m  
(E<sup>♭</sup>m) 


Em 


Fm 


F<sup>♯</sup>m  
(G<sup>♭</sup>m) 

Gm 


G<sup>♯</sup>m  
(A<sup>♭</sup>m) 


Am 


A<sup>♯</sup>m  
(B<sup>♭</sup>m) 

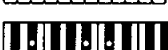
Bm 


## セブンス コード


C<sub>7</sub> 


C<sup>♯</sup><sub>7</sub>  
(D<sup>♭</sup><sub>7</sub>) 


D<sub>7</sub> 


D<sup>♯</sup><sub>7</sub>  
(E<sup>♭</sup><sub>7</sub>) 


E<sub>7</sub> 


F<sub>7</sub> 


F<sup>♯</sup><sub>7</sub>  
(G<sup>♭</sup><sub>7</sub>) 

G<sub>7</sub> 


G<sup>♯</sup><sub>7</sub>  
(A<sup>♭</sup><sub>7</sub>) 


A<sub>7</sub> 


A<sup>♯</sup><sub>7</sub>  
(B<sup>♭</sup><sub>7</sub>) 


B<sub>7</sub> \* 


## マイナー セブンス コード


Cm<sub>7</sub> 


C<sup>♯</sup>m<sub>7</sub>  
(D<sup>♭</sup>m<sub>7</sub>) 


Dm<sub>7</sub> 


D<sup>♯</sup>m<sub>7</sub>  
(E<sup>♭</sup>m<sub>7</sub>) 


Em<sub>7</sub> 


Fm<sub>7</sub> 


F<sup>♯</sup>m<sub>7</sub>  
(G<sup>♭</sup>m<sub>7</sub>) 

Gm<sub>7</sub> 


G<sup>♯</sup>m<sub>7</sub>  
(A<sup>♭</sup>m<sub>7</sub>) 


Am<sub>7</sub> 


A<sup>♯</sup>m<sub>7</sub>  
(B<sup>♭</sup>m<sub>7</sub>) 


Bm<sub>7</sub> \* 


## メジャー セブンス コード


CM<sub>7</sub> 


C<sup>♯</sup>M<sub>7</sub>  
(D<sup>♭</sup>M<sub>7</sub>) 


DM<sub>7</sub> 


D<sup>♯</sup>M<sub>7</sub>  
(E<sup>♭</sup>M<sub>7</sub>) 


EM<sub>7</sub> 


FM<sub>7</sub> 


F<sup>♯</sup>M<sub>7</sub>  
(G<sup>♭</sup>M<sub>7</sub>) 

GM<sub>7</sub> 


G<sup>♯</sup>M<sub>7</sub>  
(A<sup>♭</sup>M<sub>7</sub>) 


AM<sub>7</sub> 


A<sup>♯</sup>M<sub>7</sub> \*  
(B<sup>♭</sup>M<sub>7</sub>) 


BM<sub>7</sub> \* 


## オーギュメント コード


Caug 


C<sup>♯</sup>aug  
(D<sup>♭</sup>aug) 


Daug 


D<sup>♯</sup>aug  
(E<sup>♭</sup>aug) 


Eaug 


Faug 


F<sup>♯</sup>aug  
(G<sup>♭</sup>aug) 

Gaug 


G<sup>♯</sup>aug  
(A<sup>♭</sup>aug) 


Aaug 


A<sup>♯</sup>aug  
(B<sup>♭</sup>aug) 


Baug 


## ディミニッシュ コード


Cdim 


C<sup>♯</sup>dim  
(D<sup>♭</sup>dim) 


Ddim 


D<sup>♯</sup>dim  
(E<sup>♭</sup>dim) 


Edim 


Fdim 


F<sup>♯</sup>dim  
(G<sup>♭</sup>dim) 

Gdim 


G<sup>♯</sup>dim  
(A<sup>♭</sup>dim) 


Adim 


A<sup>♯</sup>dim  
(B<sup>♭</sup>dim) 

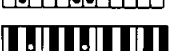
Bdim 


## シックス コード


C<sub>6</sub> 


C<sup>♯</sup><sub>6</sub>  
(D<sup>♭</sup><sub>6</sub>) 


D<sub>6</sub> 


D<sup>♯</sup><sub>6</sub>  
(E<sup>♭</sup><sub>6</sub>) 


E<sub>6</sub> 


F<sub>6</sub> 


F<sup>♯</sup><sub>6</sub>  
(G<sup>♭</sup><sub>6</sub>) 

G<sub>6</sub> 

G<sup>♯</sup><sub>6</sub>  
(A<sup>♭</sup><sub>6</sub>) 

A<sub>6</sub> 

A<sup>♯</sup><sub>6</sub>  
(B<sup>♭</sup><sub>6</sub>) 

B<sub>6</sub> 

マイナー メジャー セブンス  
コード

CmM<sub>7</sub>

C<sup>♯</sup>mM<sub>7</sub>  
(D<sup>♭</sup>mM<sub>7</sub>)

DmM<sub>7</sub>

D<sup>♯</sup>mM<sub>7</sub>  
(E<sup>♭</sup>mM<sub>7</sub>)

EmM<sub>7</sub>

FmM<sub>7</sub>

F<sup>♯</sup>mM<sub>7</sub>  
(G<sup>♭</sup>mM<sub>7</sub>)

GmM<sub>7</sub>

G<sup>♯</sup>mM<sub>7</sub>  
(A<sup>♭</sup>mM<sub>7</sub>)

AmM<sub>7</sub>

A<sup>♯</sup>mM<sub>7</sub>\*  
(B<sup>♭</sup>mM<sub>7</sub>)

BmM<sub>7</sub>\*

マイナー セブンス フラット  
ファイブ コード

Cm<sub>7</sub><sup>-5</sup>

C<sup>♯</sup>m<sub>7</sub><sup>-5</sup>  
(D<sup>♭</sup>m<sub>7</sub><sup>-5</sup>)

Dm<sub>7</sub><sup>-5</sup>

D<sup>♯</sup>m<sub>7</sub><sup>-5</sup>  
(E<sup>♭</sup>m<sub>7</sub><sup>-5</sup>)

Em<sub>7</sub><sup>-5</sup>

Fm<sub>7</sub><sup>-5</sup>

F<sup>♯</sup>m<sub>7</sub><sup>-5</sup>  
(G<sup>♭</sup>m<sub>7</sub><sup>-5</sup>)

Gm<sub>7</sub><sup>-5</sup>

G<sup>♯</sup>m<sub>7</sub><sup>-5</sup>  
(A<sup>♭</sup>m<sub>7</sub><sup>-5</sup>)

Am<sub>7</sub><sup>-5</sup>

A<sup>♯</sup>m<sub>7</sub><sup>-5</sup>  
(B<sup>♭</sup>m<sub>7</sub><sup>-5</sup>)

Bm<sub>7</sub><sup>-5</sup>\*

マイナー シックス コード

Cm<sub>6</sub>

C<sup>♯</sup>m<sub>6</sub>  
(D<sup>♭</sup>m<sub>6</sub>)

Dm<sub>6</sub>

D<sup>♯</sup>m<sub>6</sub>  
(E<sup>♭</sup>m<sub>6</sub>)

Em<sub>6</sub>

Fm<sub>6</sub>

F<sup>♯</sup>m<sub>6</sub>  
(G<sup>♭</sup>m<sub>6</sub>)

Gm<sub>6</sub>

G<sup>♯</sup>m<sub>6</sub>  
(A<sup>♭</sup>m<sub>6</sub>)

Am<sub>6</sub>

A<sup>♯</sup>m<sub>6</sub>  
(B<sup>♭</sup>m<sub>6</sub>)

Bm<sub>6</sub>

セブンス サスフォー コード

C<sub>7</sub>SUS<sub>4</sub>

C<sup>♯</sup><sub>7</sub>SUS<sub>4</sub>  
(D<sup>♭</sup><sub>7</sub>SUS<sub>4</sub>)

D<sub>7</sub>SUS<sub>4</sub>

D<sup>♯</sup><sub>7</sub>SUS<sub>4</sub>  
(E<sup>♭</sup><sub>7</sub>SUS<sub>4</sub>)

E<sub>7</sub>SUS<sub>4</sub>

F<sub>7</sub>SUS<sub>4</sub>

F<sup>♯</sup><sub>7</sub>SUS<sub>4</sub>  
(G<sup>♭</sup><sub>7</sub>SUS<sub>4</sub>)

G<sub>7</sub>SUS<sub>4</sub>

G<sup>♯</sup><sub>7</sub>SUS<sub>4</sub>  
(A<sup>♭</sup><sub>7</sub>SUS<sub>4</sub>)

A<sub>7</sub>SUS<sub>4</sub>

A<sup>♯</sup><sub>7</sub>SUS<sub>4</sub>  
(B<sup>♭</sup><sub>7</sub>SUS<sub>4</sub>)

B<sub>7</sub>SUS<sub>4</sub>\*

セブンス フラット ファイブ  
コード

C<sub>7</sub><sup>-5</sup>

C<sup>♯</sup><sub>7</sub><sup>-5</sup>  
(D<sup>♭</sup><sub>7</sub><sup>-5</sup>)

D<sub>7</sub><sup>-5</sup>

D<sup>♯</sup><sub>7</sub><sup>-5</sup>  
(E<sup>♭</sup><sub>7</sub><sup>-5</sup>)

E<sub>7</sub><sup>-5</sup>

F<sub>7</sub><sup>-5</sup>

F<sup>♯</sup><sub>7</sub><sup>-5</sup>  
(G<sup>♭</sup><sub>7</sub><sup>-5</sup>)

G<sub>7</sub><sup>-5</sup>

G<sup>♯</sup><sub>7</sub><sup>-5</sup>  
(A<sup>♭</sup><sub>7</sub><sup>-5</sup>)

A<sub>7</sub><sup>-5</sup>

A<sup>♯</sup><sub>7</sub><sup>-5</sup>  
(B<sup>♭</sup><sub>7</sub><sup>-5</sup>)

B<sub>7</sub><sup>-5</sup>\*

## 2. ソロスタイルでパフォーマンス(ソロスタイルプレイ)

ソロスタイル機能をオンにすると、演奏中の曲に自動的に付加音や効果加わるようになります。どのような付加音や効果加わるかは、伴奏スタイルごとに決まっています。たとえば伴奏スタイル番号03のロックンロール3を指定した場合には、ハーモニー、カウンターメロディー、グリッサンド音が自動的に加わります。また、34のピックバンド2を指定した場合には、「かえるの合唱」のように、高音側の演奏内容が次の小節に自動的に繰り返される。といった具合です。色々な伴奏スタイルを選んで演奏し、実際にどのようなか確認してみてください。

なお、この機能を使った場合は高音側の鍵盤での演奏が単音に制限されます。

### ①演奏モードの指定

オートベースコードスイッチで、シングルフィンガーで演奏するかフィンガードで演奏するか指定します。

### ②ソロスタイルプレイをオン

ソロスタイルプレイボタンを押して、ソロスタイルプレイ機能をオンにします。



ボタン左上のランプを点灯させた状態が、オンの状態

★この操作をした時点で、オートベースコードスイッチがフィンガードの位置になっている場合以外は、必ずシングルフィンガーに自動設定されます。

★この操作をした時点で、自動的にシンクロスタート待機状態になります。

### ③伴奏スタイルの指示

伴奏スタイル(リズム)を指示します。

### ④演奏の開始

演奏を開始します。オートベースコード用鍵盤を弾くと、自動伴奏がスタートします。

### ⑤演奏の終了

ストップボタンまたはイントロ/エンディングボタンを押して、演奏を終了します。

★リズムを停止させた状態でも、リズムによっては付加音や効果音加わるものがあります。

★スタイルによっては高音側の演奏をレガートで弾くと、後で押された音が発音しないことがあります。

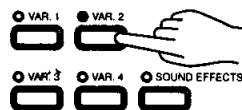
## 3. 打楽器を担当してしまおう(打楽器ボタン)

6つの打楽器ボタンを使い、自分で打楽器を担当することができます。(右頁の図参照)各ボタンに各打楽器が割り当てられていますので、ボタンを押すことにより音を出すことができます。他の楽器とアンサンブルをしたり、PSR-47で曲を演奏している途中で打楽器音をフィルインすることができます。

### ①打楽器の割り付け

5種類の打楽器グループの中から、打楽器ボタンに割り付けるグループを指定します。バリエーション1~4、サウンドエフェクトのいずれかのボタンを押してください。

たとえば、バリエーション2のボタンを押すと、



6つの打楽器ボタンは左から順に、バスドラム、ロータム(シンセ)、ミッドタム(シンセ)、…のようになります。

### ②演奏します

6つのボタンを、リズムどおりにうまく組み合わせて押してください。



★打楽器音の音量はマスターボリュームの設定によっても変化しますが、アカンパニメントボリュームボタンによる設定によっても変化します。必要であれば、アカンパニメントボリュームボタンで音量調節してください。2桁LEDディスプレイを見ながら1~9の範囲で調節できます。

★PSR-47にあらかじめセットされているリズムを鳴らしながら、それに合わせて打楽器音を加えることもできます。

### シンクロブレイク

シンクロブレイクボタンを押してボタン左上のランプを点灯させておくと、シンクロブレイクが可能になります。シンクロブレイクは、PSR-47にあらかじめセットされているリズムを鳴らしている途中で、打楽器ボタンを押してリズムのフィルインを自分で演奏すると、その間リズムは休止している機能です。



★小節の終わりから16分音符以内に打楽器ボタンが押されないと、次の小節から再びリズムが鳴りだします。

打楽器ボタン

	リムショット	ロータム (ノーマル)	ミッドタム (ノーマル)	ハイタム (ノーマル)	ハイハット (クローズ)	ハイハット (オープン)
	バスドラム	ロータム (シンセ)	ミッドタム (シンセ)	ハイタム (シンセ)	スネアドラム	ライド シンバル
	アゴゴ (ロー)	アゴゴ (ハイ)	クイーカ (ロー)	クイーカ (ハイ)	カバサ	クラッシュ シンバル
	コンガ (ロー)	コンガ (ハイ)	ティンバル (ロー)	ティンバル (ハイ)	ボンゴ (ハイ)	カウベル
	人の声 (ハー-I)	人の声 (イエー-I)	車の クラクション	ピストルの 発射音	ガラスの 割れる音	ハンド クラップ

・(ノーマル)は、アコースティックドラムを意味します。

・(シンセ)は、シンセサイザードラム(エレクトロニックドラム)を意味します。

## 4. 自分の演奏を録音 (ミュージックプログラマー)

自分の演奏を録音できます。録音できるのはリズムをスタートさせてから停止させるまでの間です。パネル上のボタンを見ても解るように、オーケストラ側(つまり高音側)の演奏とアカンパニメント側(伴奏、つまり低音側)の演奏をそれぞれ、録音するか再生するか選択してからスタートさせることができます。従って、低音側と高音側を一度に録音してしまうこともできますが、低音側をまず録音して、次にそれを再生しながら高音側を録音することもできます。(二度に分けて録音すると、後で録音する高音側の演奏時に、鍵盤の制限がなくなります。つまり、オートベースコード用鍵盤の範囲で弾いた内容も録音されます。)

なお、録音時には高音側と低音側に、それぞれ次の内容が記憶されます。なお、録音中に設定を変えた場合、実際にそのタイミングで記録されます。

- ・高音側：演奏情報、音色番号、アンサンブル機能のオン/オフ、サステイン効果のオン/オフ、ボイスボリューム
- ・低音側：演奏情報、伴奏スタイル番号、テンポ、イントロ、フィルイン、エンディング、ストップ、アカンパニメントボリューム

★録音後、パワースイッチをオフにすると録音した内容は消えてしまいます。

★録音の最大容量は、低音側が最大198小節(1小節に1コードずつ録音した場合は66小節程度)、高音側が最大120音符(4分音符きざみで録音した場合は100音符程度)です。ただし各種の設定操作の変更回数によっても大きく変わります。

★再録音すると、前の内容が消えてしまいます。

### 高音側と低音側を一度に録音する場合

#### ①伴奏スタイルの選択

録音する曲に合った伴奏スタイルを選んでください。

#### ②演奏モードの指定

オートベースコードスイッチで、シングルフィンガーで演奏するかフィンガードで演奏するか指定します。

#### ③テンポ調節

演奏しやすい速さにします。

#### ④必要に応じて効果をオン

アンサンブル機能、サステイン効果をオンにしておくことができます。

#### ⑤音色の指定

高音側の音色を指定します。

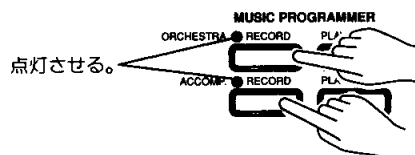
#### ⑥音量の調節

高音側の音量と低音側の音量を、ボイスボリュームボタンおよびアカンパニメントボリュームボタンでそれぞれ調節できます。

★マスターボリューム調節による全体の音量については、記憶されません。演奏しやすい音量にすればOKです。

#### ⑦録音スタート待ちの状態に

オーケストラレコードボタンとアカンパニメントレコードボタンをそれぞれ押します。



★録音スタート待ちの状態にすると、メトロノーム音が1拍ごとに鳴りだします。

★この操作をした時点で、オートベースコードスイッチがフィンガードの位置になっている場合以外は、必ずシングルフィンガーに自動設定されます。

★この操作をした時点で、シンクロスタート待ちの状態になります。

### ⑧必要に応じてスタート方法を変更

シンクロスタートをやめて、スタートやイントロスタートに変更することもできます。変更する場合はそれぞれのボタンを押しますが、ボタンを押した時点から録音が始まります。

### ⑨演奏の開始

シンクロスタートの場合には、演奏を開始した時点から録音が始まります。

### ⑩必要に応じて……

演奏の途中で伴奏スタイルやテンポ、音色などを変更したり、フィルインを入れたり、効果をオン/オフすることができます。これらの操作も実際に記録されます。

### ⑪演奏の終了

ストップボタンまたはイントロ/エンディングボタンを押して演奏を終了します。リズムが止まった時点で録音終了です。

録音が終了すると、



レコードボタン左上のランプが消灯します。

★レコードボタンやプレイボタンを押して、録音を終了させることもできます。

★記憶容量が一杯になると、録音がそこで強制的に終了します。

★録音中に演奏を失敗した時は、シンクロスタートボタンを押してください。⑧の操作からやり直すことができます。

### 高音側と低音側を二回に分けて録音する場合

#### 1. 低音側の録音

##### ①伴奏スタイルの選択

録音する曲に合った伴奏スタイルを選んでください。

##### ②演奏モードの指定

オートベースコードスイッチで、シングルフィンガーで演奏するかフィンガードで演奏するか指定します。

##### ③テンポ調節

演奏しやすい速さにします。

##### ④音量の調節

低音側の音量を、アカンパニメントボリュームボタンで調節できます。

### ⑥録音スタート待ちの状態に

アカンパニメントレコードボタンを押して、ボタン左上のランプを点灯させます。

### ⑦必要に応じてスタート方法を変更

シンクロスタートをやめて、スタートやイントロスタートに変更することもできます。変更する場合はそれぞれのボタンを押しますが、ボタンを押した時点から録音が始まります。

### ⑧演奏の開始

シンクロスタートの場合には、演奏を開始した時点から録音が始まります。

### ⑨必要に応じて……

演奏の途中で伴奏スタイルやテンポを変更したり、フィルインを入れることができます。これらの操作も実際に記録されます。

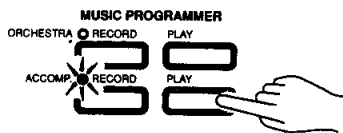
### ⑩演奏の終了

ストップボタンまたはイントロ/エンディングボタンを押して演奏を終了します。リズムが止まった時点で録音終了です。

## 2. 高音側の録音

### ①低音側を再生スタート待ちの状態に

アカンパニメントレイボタンを押して、アカンパニメントレコードボタン左上のランプを点滅させます。



### ②録音スタート待ちの状態に

オーケストラレコードボタンを押して、ボタン左上のランプを点灯させます。



### ③必要に応じて効果をオン

アンサンブル機能、サステイン効果をオンにしておくことができます。

### ④音色の指定

高音側の音色を指定します。

### ⑤音量の調節

高音側の音量を、ボイスボリュームボタンで調節できます。

### ⑥スタート方法の変更

シンクロスタートをやめて、スタートまたはイントロスタートに変更します(このようにしないと、どんな曲でも曲の頭から高音側の演奏を始めなければならなくなります)。該当するボタンを押して低音側の再生をスタートさせます。

★イントロスタートさせても、イントロは記憶されません。

### ⑦演奏の開始

低音側の再生音に合わせて、高音側の演奏をします。

### ⑧必要に応じて……

演奏の途中で音色を変更したり、効果をオン/オフすることができます。これらの操作も実際に記録されます。

### ⑨演奏の終了

低音側の再生が終了した時点で、録音が終了します。また、ストップボタンまたはイントロ/エンディングボタンを押して再生および録音を終了させることもできます。リズムが止まった時点で録音終了です。

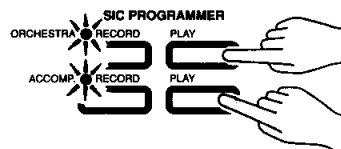
## 再生

### ①再生スタート待ちの状態に

高音側と低音側の両方を再生する場合は両方のプレイボタンを押し、片方だけの時は該当する方のプレイボタンだけ押します。すると再生スタート待ちの状態になります。

両方のランプを点滅させる。

(片方だけ再生させることも可能)



★この操作をした時点で、シンクロスタート待ちの状態になります。

★低音側だけ再生させて、それに合わせて演奏することも可能です。

### ②再生の開始

鍵盤またはスタートボタンを押すと、すぐに再生が始まります。またイントロ/フィルイン1~4ボタン、イントロ/エンディングボタンのいずれかを押してイントロパターンを付けて再生させることもできます。

### ③音量の調節

各音量を調節できます。

### ④必要に応じて……

再生音に合わせて、演奏することも可能です。

### ⑤再生の終了

最後まで再生されると自動的に停止しますが、途中でストップボタンやイントロ/エンディングボタンを押して終了させることも可能です。

★再生終了後、再び再生スタート待ちの状態になります。再生スタート待ちを解除する時は、プレイボタンまたはストップボタンを押して、ランプを消灯させてください。

★テンポや伴奏スタイルを変えて再生させたり、フィルインを入れることも可能です。

★録音時と異なったビート(3/4、4/4、9/8、12/8、15/8拍子の区別)のリズムを選ぶと、録音時とは違ったタイミングで再生されます。

★同時発音数には制限があります。



## ●練習曲

# とんぼ

作詞・作曲：長瀬剛

ミュージックプログラマーの機能を使い、あらかじめコードをアカンパニメントの方に、オブリガートをオーケストラの方に記憶させておきます。そして、それらを再生させてメロディーを弾けばOKです。

コードはシングルフィンガーコード、フィンガードコードのどちらで弾いてもかまいません。

※リズムの種類、テンポ、伴奏パートのオン/オフ、フィルイン、エンディング、サスティン/オンはコード演奏の際アカンパニメントに記憶させ、音色の切り替えはオブリガートのオーケストラの方に記憶させます。

### ●セッティング

リズム	テンポ	伴奏パート	音色	効果
02 ロックンロール2	J = 112	ベースオン、コード1オン、コード2オン、リズムオン	33 サキソフォーン	サスティン/オン

イントロ

メロディー

オブリガート

音色: 34 ハーモニカ

コード2 オフ

メロディー

オブリガート

音色: 34 ハーモニカ

コード2 オフ

3

G

Am7

コツコ ツとアスファルトに きざ む あしお とをふみしめるた びに おれは  
らなこ ろたちが みえ て やりき れないよるをかぞ え のがれ

メロディー

オブリガート

1

G

おれーで ありつ づけない そうね かった うらは  
られない やみの

メロディー

オブリガート

音色: 44 シンセプラス2

2

Am7

G

D7

G

C

なかで きょうも ねむったふりをす る しに たいくらいにあこ がれた はなの  
いたにがいすなを かむと ねじふ  
(2 × 休み)

シングルフィンガーコード



フィンガードコード



G D7 Em

1

みやこだ いとう きょう うすつ ぺらな ポストンバッグ きたへきたへむ かった ざらつ  
せられた しょうじき さが いまこ

2 D7 G フィルイン1 コード2 オン  
音色: 47 ロックオルガン

ろに なって や けにほねみにしみる あ あ しあわ  
あ しあわ

D7 Em C 1 G D7

せの - とんぼ よ どこ へ - おまえ は どこ へ - とんでゆ  
せの - とんぼ がー ほ ら (おまえを したを) (2 × 休み)

エンディング

2 G D7 G D7 G

く あ だして - - わらってら -

# 5. ステップ3(活用編II)

## 1. リズムパターンを作ろう(カスタムドラマー)

PSR-47には100種類のリズムがあらかじめセットされていますが、自分で2小節のリズムパターンを1種類作成することができます。作成後は、このパターンを呼び出して自由に使用できるようになります。

### リズムパターンの作成

#### ①最も近いリズムを指定

作成するリズムに最も近いリズムを選びます。

#### ②パターン作成状態に

プログラムボタンを押します。するとパターン作成状態になり、選んだリズムが鳴りだします。

点灯させると、カスタムドラマーの表示になる。



#### ③作成しやすい状態に

テンボや音量を調節します。

#### ④リズムの作成

##### ・最初からリズムを作りたい場合は?

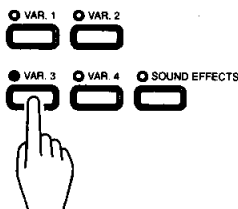
現在鳴っている打楽器音全てをパターン上から消してしまいたい場合は、クリアボタンを押します。すると、それまで鳴っていた打楽器音が全て消え、最初からリズムを作ることができるようになります。なお、リズム音の代わりにメトロノーム音がハイハットクローズの音色で鳴り出します。(このメトロノーム音は仮の音であり、後で再生する時には鳴りません。)



##### ・打楽器音を加える場合は?

バリエーション1~4およびサウンドエフェクトボタンを押して、打楽器ボタンに対して打楽器の割り付けを行ったら(21ページ参照)、実際にリズムに合わせて打楽器ボタンをタイミングよく押して、打楽器音を加えていきます。2小節のリズムは終了の操作を行うまで繰り返し鳴りますので、1音1音少しずつ加えていけばOKです。

まず、打楽器ボタンに対して割り付けを行い、



次に、実際に音を加えていきます。



★同タイミングで、最大4種類の打楽器音を一度に鳴らすようにできます。

★最大8種類の打楽器を使ってパターン作成できます。

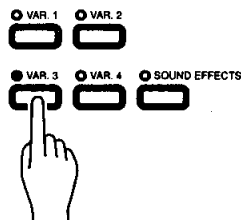
##### ・特定の打楽器の音を消してしまいたい場合は?

必要のないある特定の打楽器の音を、2小節間に渡って一度に消してしまうことができます。なお、目標とするリズムに近いが少しだけでもタイミングが違ったり、余分なタイミングで入っている場合も、この方法で一度に消してしまうしかありません。

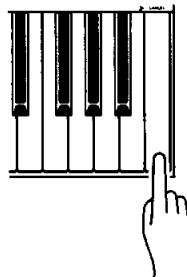
まず最初に必要のない打楽器音を打楽器ボタンに割り付けます。バリエーション1~4およびサウンドエフェクトボタンを押して、打楽器ボタンに対して割り付けを行ってください。

そして次に、キャンセル用鍵盤(一番右側の鍵盤)を押しながら、消してしまいたい打楽器のボタンを押します。すると、その打楽器の音がパターン上から消えます。

まず、打楽器ボタンに対して割り付けを行い、

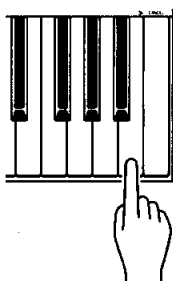


次に、キャンセル用鍵盤を押しながら、その打楽器音のボタンを押します。



### ・強拍にする場合は？

希望する打楽器の音を希望するタイミングで強拍にできます。たとえば3拍目のバスドラムの音を強拍にしたい場合は、3拍目のタイミングで、アクセント用鍵盤(右から2番目の鍵盤)とバスドラムにしたボタンを押してください。



★一度強拍にした音の強拍だけを解除することはできません。その音を消して、再び強拍なして入力してください。

### ⑤作成の終了

ストップボタンを押して、作成を終了します。



★作成したパターンは、パワースイッチをオフにしたり、プログラムボタンを押すと消えてしまいます。

### 作成したリズムパターンの再生

#### ①スタート

プレイボタンを押すことにより、作成したリズムパターンを鳴らすことができます。



#### ②停止

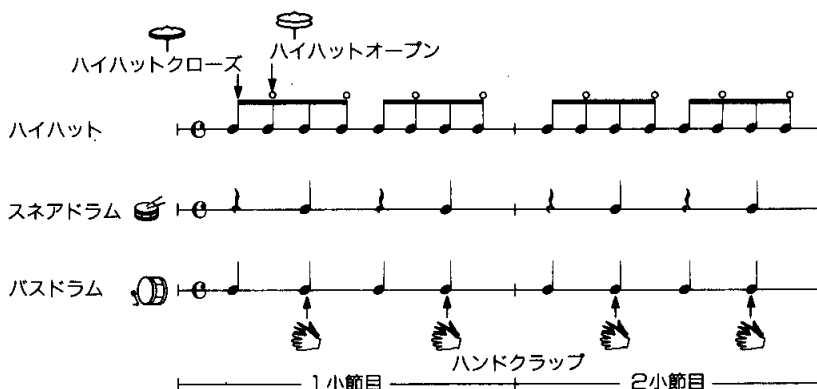
もう一度プレイボタンを押すか、ストップボタン等を押します。



★作成したパターンを使って自動伴奏させた場合は、基本的な伴奏パターンになります。

### 簡単なディスコのリズムパターンに挑戦！

リズム番号00のディスコのリズムを選び、それを一度クリアしたうえで、打楽器ボタンを押してリズムパターンを作成します。テンポを表わす3桁LEDディスプレイの点の点灯と、メトロノーム音で拍数を確認しながら押しましょう。



メトロノーム音の間隔は1拍(♩)、ディスコのリズムは4/4拍子ですから、つまり1小節間で“チッ・チッ・チッ・チッ”と4回鳴り、2小節間では8回鳴ります。

※PSR-47のリズムは、3/4、4/4、9/8、15/8、12/8拍子の5種類に分類されます。カスタムドラマー機能で作成できるリズムパターンは選んだリズムが元になりますので、たとえばワルツで4拍子のパターンを作ったり、12/8拍子のリズムで8ビートのパターンを作ることはできません。

## 2. 他の機器と接続するには？

リアパネルの付属端子を使って、各機器と接続できます。

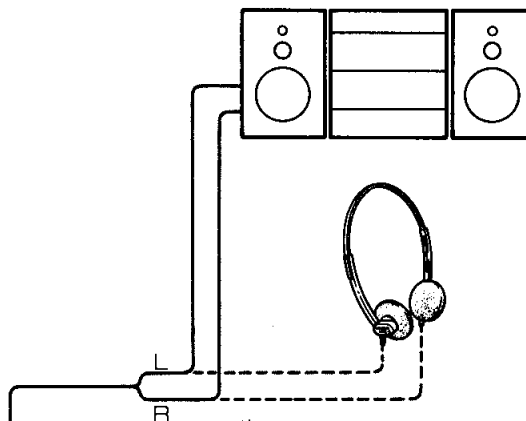
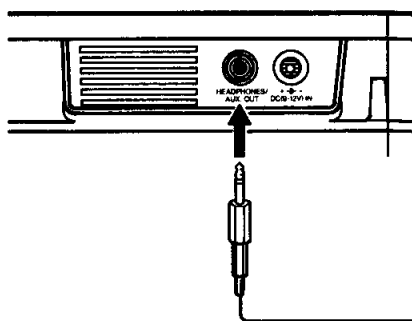
### ・ヘッドホン/AUX出力端子

この端子を使いステレオなどに接続して、より大きな音で鳴らしたり、カセットテープに演奏を録音することができます。また、ヘッドホンに接続して外に音を出さずに演奏できます。

※ステレオに接続した時は PSR-47 のマスターボリュームは8分目にして、ステレオのボリュームで音量を調節してください。

※この端子にプラグを差し込むと、PSR-47のスピーカーからは音が出なくなります。

※ステレオに接続する場合は、接続コード(33ページ参照)とステレオ変換プラグが必要です。



### ・電源アダプター接続用端子(2ページ参照)

付属の電源アダプター・PA-4を接続するための端子です。

### ・MIDI端子(29ページ参照)

この端子を使い他のMIDI機器と接続して、MIDIに関する情報をやりとりさせることができます。そして、様々なコントロールが可能です。

## 3. MIDI機能でステップアップ

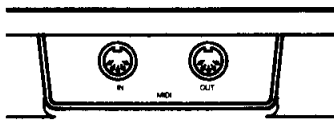
PSR-47はMIDI機能(MIDI端子)をもった楽器です。ここでは、MIDI端子の説明やMIDI機能を使ってできること、MIDIに関する設定方法を順に紹介します。

### MIDIとは？

MIDIという言葉はミュージカル・インストゥルメント・デジタル・インターフェイス(Musical Instrument Digital Interface)の頭文字をとったもので、“ミディ”と読みます。MIDIは、2台以上のMIDI製品を接続して、それらの間で、演奏にまつわる様々なコントロールをさせようという目的で考え出された世界統一規格です。

### 本機のMIDI端子

本機には、次のように2種類のMIDI端子があります。



### MIDI OUT(ミディアウト)

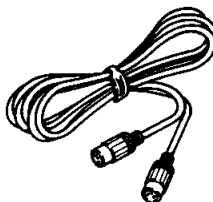
PSR-47の演奏情報をデジタル信号で出力します。

### MIDI IN(ミディイン)

他のMIDI製品からの演奏情報を入力します。

★MIDI接続には、別売のMIDIケーブルが必要です。

MIDIケーブル (MIDI-15: 15m) ￥3,000  
(MIDI-03: 3m) ￥1,100

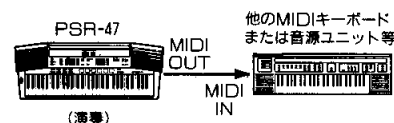


### MIDIでできること

MIDI製品と一口にいても実に様々なものがありますので、ここでは代表的なものを選んで“できること”を紹介します。接続する製品の取扱説明書も合わせてご覧ください。

### MIDI OUT端子を使ってできること

◆MIDIキーボードまたは音源ユニットを接続した場合



★PSR-47で演奏すると、接続した製品もそれ自身の音色で同時に鳴り、音に厚みができます。

★PSR-47で音色を切り替えると、接続した製品の音色も同時に切り替わります。

## MIDIインプリメンテーションチャート

## ◆MIDIシーケンサーに接続した場合

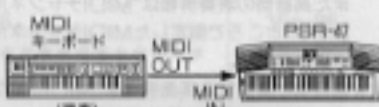
(MIDI信号などデジタル情報で演奏を記録する機器は、一般にシーケンサーと呼ばれています。)



- ★PSR-47で演奏する内容を、MIDIシーケンサーに記録できます。MIDIシーケンサーには多くの曲を記録しておくことができ、後でそれを自由に再生できます。
- ★弾いた音符の情報だけでなく、音色の切替情報や様々な情報(後述)も同時に記録できます。

## MIDI IN端子を使ってできること

## ◆MIDIキーボードに接続した場合



- ★外部のMIDIキーボードで演奏すると、PSR-47が同時に鳴り、音に厚みができます。
- ★外部のMIDIキーボードで音色を切り替えると、PSR-47の音色も同時に切り替えます。
- ★この他に下記のような情報を受け取って、PSR-47がコントロールされます。
  - ・音量変化の情報(マスターボリューム)
  - ・サスティン効果のオン/オフ情報

## ◆MIDIシーケンサーに接続した場合



- ★MIDIシーケンサーに記録済みの演奏内容を、PSR-47の音色で再生できます。

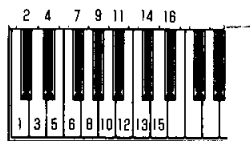
## MIDIのモード設定と機能

## 設定方法

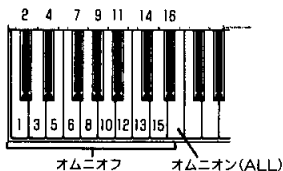
※操作①から④に移る時、MIDIボタンは離さないでください。

設定項目	操作① ( <input type="checkbox"/> ボタンを押しながら)	操作② ( <input type="checkbox"/> ボタンを押しながら)	表示および設定範囲
リモートコントロールモード/標準音色モードの切替	ボイスセレクトボタンの <input type="checkbox"/> を押して設定する。		リモートコントロールモード      標準音色モード <div>rc   <input type="checkbox"/> ,   <input type="checkbox"/> ,   <input type="checkbox"/> ,   <input type="checkbox"/></div>
MIDI送信チャンネルの設定	ボイスセレクトボタンの <input type="checkbox"/> を押す。	該当するオートベースコード用鍵盤を押して設定する。(返A参照)	チャンネル1      チャンネル16 <div>5   1   <input type="checkbox"/> ~   5   16   <input type="checkbox"/></div>
MIDI受信チャンネルの設定	ボイスセレクトボタンの <input type="checkbox"/> を押す。	該当するオートベースコード用鍵盤を押して設定する。(返B参照)	オムニオン+チャンネル1      オムニオフ+チャンネル1      オムニオフ+チャンネル16 <div>rc RL   <input type="checkbox"/> ,   rc   1   <input type="checkbox"/> ~   rc   16   <input type="checkbox"/></div> <p>現在、標準音色モードの場合……</p> <p>操作③: 操作②で指定したチャンネルのオン/オフを、<input type="checkbox"/> ボタンを押しながら、ボイスセレクトボタンの <input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> で指定する。</p> <div> <div>オン      オフ</div> <div>rc   1   on ,   rc   1   of</div> </div> <p>操作④: 操作③を繰り返して、他のチャンネルも設定する。</p>
スプリット送信モードオン/オフの切替(リモートコントロール時のみ設定可能)	ボイスセレクトボタンの <input type="checkbox"/> を押す。	ボイスセレクトボタンの <input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> を押して設定する。	オン      オフ <div>SPL   on ,   SPL   of</div>
プログラムチェンジ/各コントロールチェンジ・キャンセルオン/オフの切替	ボイスセレクトボタンの <input type="checkbox"/> を押す。	ボイスセレクトボタンの <input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> を押して設定する。	オン      オフ <div>PCC   on ,   PCC   of</div>
外部クロック/内部クロックの切替(リモートコントロール時のみ設定可能)	ボイスセレクトボタンの <input type="checkbox"/> を押す。	ボイスセレクトボタンの <input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> を押して設定する。	外部クロック      内部クロック <div>CL   E ,   CL   I</div>
ローカルコントロールオン/オフの切替(リモートコントロール時のみ設定可能)	ボイスセレクトボタンの <input type="checkbox"/> を押す。	ボイスセレクトボタンの <input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> を押して設定する。	オン      オフ <div>LOC   on ,   LOC   of</div>
リズム受信チャンネルの設定(標準音色モード時のみ動作可能)	ボイスセレクトボタンの <input type="checkbox"/> を押す。	該当するオートベースコード用鍵盤を押して設定する。(返A参照)	チャンネル1      チャンネル16 <div>1   <input type="checkbox"/> ,   16   <input type="checkbox"/></div>

図A



図B



#### ◆リモートコントロールモード/標準音色モードの切替

リモートコントロールモードは、PSR-47を送信側に接続してマスターキーボードとして使用することを前提としたモードです。通常はこのモードにしておきます。なお、このモードでPSR-47を受信側にした場合は、ある1つのチャンネルの情報のみ受信できます。

これに対し標準音色モードは、PSR-47を受信側に接続して音源として使用すること前提としたモードです。標準音色モードにすると、同時に複数のチャンネルの情報を受信できるようになります。たとえばMIDIシーケンサーに記録されている複数のチャンネルの演奏情報をPSR-47に受信させ、同時に複数の音色で鳴らしたい時に、標準音色モードにします。

★チャンネルについては、次項の“MIDIチャンネルの設定”を参照。

★パワースイッチをオンにした時は、必ずリモートコントロールモードとなっています。

★同時発音数は基本的に演奏音が8音、リズム音が7音です。

#### ◆MIDIチャンネルの設定

送信チャンネルと受信チャンネルを、それぞれ任意に設定できます。

★パワースイッチをオンにした時は、必ず送信チャンネルはチャンネル1、受信チャンネルはオムニオン+チャンネル1となっています。

★オムニオンはチャンネル設定に関係なく、どのチャンネルメッセージでも受信できる状態で、オムニオフは指定したチャンネルの情報だけを受信できる状態です。

#### ◆スプリット送信モードオン/オフの切替

シングルフィンガー、フィンガード、スプリット状態の時に、スプリット送信モードオンという状態にすると、低音側と高音側の演奏情報が、異なったチャンネルに送信されるようになります。

「PSR-47上で低音部と高音部を異なった音色で鳴らすだけでなく、外部の製品側でもそうしたい。」という場合、スプリット送信モードオンにしてください。

★低音側の演奏情報はMIDIチャンネル2で送信されますので、外部の製品のMIDI受信チャンネルを2に合わせてください。

また高音側の演奏情報は“MIDIチャンネルの設定”のところで指定したMIDIチャンネルで送信されます。

★低音側と高音側の演奏情報を、MIDIシーケンサーに別々のチャンネルで記録することも可能です。

★PSR-47を受信側にした場合は、この機能は一切関係ありません。

★標準音色モードの場合は、この機能は存在しません。

★パワースイッチをオンにした時は、必ずスプリット送信モードオフになっています。

#### ◆プログラムチェンジ&コントロールチェンジ・キャンセルオン/オフの切替

プログラムチェンジ&コントロールチェンジ・キャンセルオンという状態にすると、PSR-47で音色を切り替えたり、演奏音の音量を調節したり、サスティンボタンをオン/オフしても、MIDI OUT端子へそれらの情報を出力しなくなります。また、MIDI IN端子からそれらの情報を受けてもPSR-47の状態は変わりません。

つまり、PSR-47だけで単独に操作したい場合(他の機器と連動させたくない場合)には、キャンセルオンにしてください。

★パワースイッチをオンにした時は、必ずプログラムチェンジ&コントロールチェンジ・キャンセルオフとなっています。

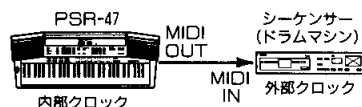
★この機能の設定は、リモートコントロールモードの場合は送受信共に有効ですが、標準音色モードの場合は送信のみ有効です。

#### ◆外部クロック/内部クロックの切替

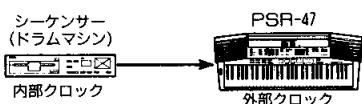
本機のリズムを制御するクロックを選択できます。

外部クロックにすると、PSR-47のリズムの速さが外部のシーケンサーやドラムマシンによってコントロールされるようになり、内部クロックにすると、PSR-47のリズムの速さはPSR-47自身によってコントロールされるようになります。

★外部シーケンサーやドラムマシンの再生スピードを、PSR-47のリズムの速さに合わせる場合は、次のようにセットしてください。



★PSR-47のリズムの速さを、外部のシーケンサーやドラムマシンの再生スピードに合わせる場合は、次のようにセットしてください。



★パワースイッチをオンにした時は、必ず内部クロックとなっています。

★標準音色モードの場合は、この機能は存在しません。

#### ◆ローカルコントロールオン/オフの切替

ローカルコントロールオフという状態にすると、PSR-47で演奏したにもかかわらずPSR-47自身では鳴らなくなります。ただしMIDI OUT端子からは、オン/オフにかかわらず演奏情報が出力されます。

つまりローカルコントロールオフは、あえて外部の製品側だけで鳴らしたい場合に、PSR-47で音が出ないようにするためのものです。

★PSR-47を受信側にした場合は、この設定は一切関係ありません。

★パワースイッチをオンにした時は、必ずローカルコントロールオンとなっています。

★標準音色モードの場合は、この機能は存在しません。常にローカルコントロールオフの状態となっています。

#### ◆リズム受信チャンネルの設定

(標準音色モード時のみ設定可能)

リズム音(打楽器音)の発音情報に対する受信チャンネルを設定できます。送信側のチャンネルと一致させてください。(前述の“受信チャンネルの設定”はリズム以外のパートに対するものです。)

★ここで指定したチャンネルと、リズムパート以外のチャンネルが重複した場合は、リズムが優先されます。

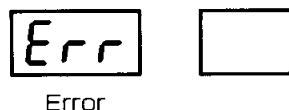
★パワースイッチをオンにした時は、必ずリモートコントロールモードで、オムニオン+受信チャンネル1になっています。またこの状態から、標準音色モードに切り替えた時は、本設定はチャンネル16となっています。

★リモートコントロールモードの場合は、チャンネル設定はできますが、機能しません。

#### MIDIエラー表示

MIDI受信の際、送受信間のトラブルのために正確に情報がやりとりされなかったり、送受信バッファの容量を越えるデータが生じた場合は、次のようにMIDIエラーを意味する文字が表示されます。

この表示になった場合はパワースイッチをオンにしておいて、再実行してください。ただし、送受信バッファの容量オーバーによるエラーの場合は、あらかじめデータをいくつかに分割するなどしてください。





## MIDIインプリメンテーションチャート

Date: 1989.3.29  
Version: 1.0

ファンクション...	送	信	受	信	備	考
ベーシック 電源ON時 チャンネル 設定可能	1チャンネル 1~16チャンネル		1チャンネル 1~16チャンネル			
モード 電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × *****		モード3 オムニ・オン、オムニ・オフ ×		リモートコントロールモード の場合のみ	
ノート ナンバー 音域	36~96 *****		36~96 ※1 36~96 ※2			
ベロシティ ノート・オン ノート・オフ	× 9nH, v=64 ※3 × 9nH, v=0		○ ×	※4		
アフター キー別 タッチ チャンネル別	× ×		× ×			
ピッチ・ベンダー	×		○ 0~2 semi		7ビット分解能	
コントロール チェンジ	07 ○ 64 ○		○ ○		ボリューム サスティン	
プログラム チェンジ 設定可能範囲	○ 0~99 *****		○ 0~99 ※5 0~99			
エクスクルーシブ	×		×			
コモン ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	× × ×		× × ×			
リアル クロック タイム コマンド	○ ○		○ ○		リモートコントロールモード の場合のみ	
その他 ローカルON/OFF オール・ノート・オフ アクティブ・センシング リセット	× × ○ ×		○ ○ (122~125) ○ ×			
備 考	※1 標準音色モードの場合は1~127 ※2 標準音色モードの場合は24~102 ※3 標準音色モードの場合はv=127 ※4 標準音色モードの場合のみ ※5 標準音色モードの場合は0~120					

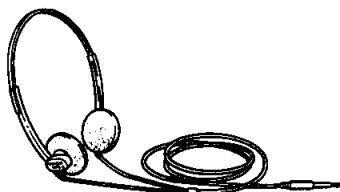
モード1 : オムニ・オン、ポリ      モード2 : オムニ・オン、モノ      ○ : あり  
 モード3 : オムニ・オフ、ポリ      モード4 : オムニ・オフ、モノ      × : なし



# 6. 資料

## 1. オプション(別売品)のご紹介

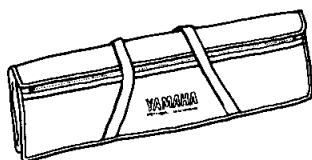
ステレオヘッドホン・HPE-9 ￥3,000



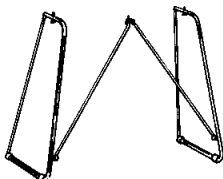
MIDIケーブル・MIDI-03(3m) ￥1,100



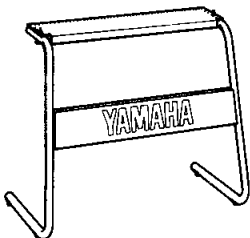
専用ソフトケース・SCC-32



スタンド・L-2 ￥6,000



スタンド・L-4 ￥9,000



※表示の価格には、消費税は含まれていません。

## 2. 仕様

- 鍵盤  
一段鍵盤引鍵(C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>)
- ボイス(100音色)
- 00 ピアノ
- 01 ピアノ?
- 02 ホンキートンクピアノ
- 03 エレクトリックピアノ1
- 04 エレクトリックピアノ2
- 05 ハープシコード
- 06 クラビ
- 07 シンセクラビ
- 08 チェレスタ
- 09 トーイピアノ
- 10 バイブス
- 11 チャイム
- 12 シロホン
- 13 マリンバ
- 14 バンブーマリンバ
- 15 ティンパニ
- 16 スチールドラム
- 17 カリバン
- 18 ガムラン
- 19 ミュージックボックス
- 20 ストリングス
- 21 ピッチストリングス
- 22 シンセストリングス1
- 23 シンセストリングス2
- 24 バイオリン
- 25 チェロ
- 26 ハープ
- 27 フルート
- 28 パンフルート
- 29 リコーダー
- 30 クラリネット
- 31 オボエ
- 32 バスーン
- 33 サクソフォーン
- 34 ハーモニカ
- 35 コーディオン
- 36 バグパイプ
- 37 トランペット
- 38 ミュートトランペット
- 39 トロンボーン
- 40 ホルン
- 41 チューバ
- 42 プラスアンサンブル
- 43 シンセブラス1
- 44 シンセブラス2
- 45 バイオオルガン
- 46 ジャズオルガン
- 47 ロックオルガン
- 48 ストリートオルガン
- 49 リードオルガン
- 50 ヒューマンボックス
- 51 シンセボックス
- 52 ホイッスル
- 53 クラシックギター
- 54 フォークギター
- 55 ジャズギター
- 56 ロックギター
- 57 ディストーションギター
- 58 ミュートギター
- 59 バンジョー
- 60 マンドリン
- 61 シタール
- 62 箏
- 63 三味線
- 64 アコースティックベース
- 65 ホーベース
- 66 エレクトリックベース
- 67 スラップベース
- 68 フレットレスベース
- 69 シンセベース1
- 70 シンセベース2
- 71 シンセベース3
- 72 アナログシンセ
- 73 リードシンセ
- 74 シンセミュージックボックス
- 75 スペースフルート
- 76 アクア
- 77 ランドスコープ
- 78 ファズブラス
- 79 メタリックリード
- 80 クリスタル
- 81 アイスブロック
- 82 シンセタム
- 83 サンバホイッスル
- 84 アフリカンパーカッション
- 85 鳥
- 86 デジスイープ
- 87 ハンマーショット
- 88 クリスタルブロック
- 89 インペーダー
- 90 ショックアラーム
- 91 アッ
- 92 ウォータードロップ
- 93 エマーゼンシー
- 94 擬音
- 95 レーシングサーキット
- 96 スクレープ
- 97 コンストラクション
- 98 波
- 99 オーケストラヒット
- ボイスセレクトボタン(0~9、+、-)
- ボイスリスト(00~99)
- ロウボタン
- 効果  
サスティン1・2、アンサンブル、ピッチベンド、デュアルボイス
- ボリューム  
ボイスボリューム、アカンパニメント  
ボリューム、マスターボリューム
- アカンパニメント  
アカンパニメントスタイル(100種類)
- 00 ディスコ
- 01 ロックンロール1
- 02 ロックンロール2
- 03 ロックンロール3
- 04 ポップロック1
- 05 ポップロック2
- 06 16ビート1
- 07 16ビート2
- 08 ロッカバード
- 09 ロックパロック
- 10 クリスマスロック
- 11 オリエンタルロック
- 12 ブラスロック
- 13 テクノロック1
- 14 テクノロック2
- 15 ハードロック
- 16 ヘビーメタル
- 17 スピードメタル
- 18 フェュージョン1
- 19 フェュージョン2
- 20 ファンク1
- 21 ファンク2
- 22 ファンク3
- 23 ファンク4
- 24 ラップ
- 25 リズム&ブルース1
- 26 リズム&ブルース2
- 27 スローブルース
- 28 ゴスペル
- 29 スイングギター
- 30 スイングピアノ
- 31 スイングオルガン
- 32 スイングビブラフォン
- 33 ビッグバンド1
- 34 ビッグバンド2
- 35 ビッグバンド3
- 36 モダンジャズ
- 37 5/4スウィング
- 38 ジャズバラード
- 39 シャッフル
- 40 ブギウギピアノ1
- 41 ブギウギピアノ2
- 42 ブギウギピアノ3
- 43 ブギビッグバンド1
- 44 ブギビッグバンド2
- 45 ジャズパロック
- 46 ディキシーランドコンボ
- 47 ディキシーランドバンジョー
- 48 カントリー
- 49 カントリーピアノ
- 50 カントリースチールギター
- 51 ラグタイムピアノ
- 52 ブルグラス
- 53 ボサノバ1
- 54 ボサノバ2
- 55 サンバ1
- 56 サンバ2
- 57 サンバ3
- 58 サルサ1
- 59 サルサ2
- 60 サルサ3
- 61 タンゴ
- 62 ハバネラ
- 63 マンボ1
- 64 マンボ2
- 65 マンボ3
- 66 ルンバ
- 67 チャチャチャ
- 68 コンガ
- 69 メレンゲ
- 70 カリブソ1
- 71 カリブソ2
- 72 レゲエ
- 73 キューバン
- 74 ビギン
- 75 マリアッチ
- 76 ボレロ
- 77 フラメンコ
- 78 サンアフロ
- 79 アルゼンチンフォルクローレ
- 80 アイランドフォルクローレ
- 81 マーチ1
- 82 マーチ2
- 83 マジェスティックマーチ
- 84 ボルカ
- 85 パロック(ワルツ)
- 86 ビッグバンド(ワルツ)
- 87 ジャズワルツ
- 88 ウィーンワルツ
- 89 パロック
- 90 ララバイ
- 91 クラシカルギター
- 92 ストリートオルガン
- 93 ファンファール
- 94 サファリ
- 95 ハワイアン
- 96 シャンソン
- 97 マンドリンバンド
- 98 ストリングカルテット
- 99 パーバーストップカルテット
- アカンパニメントスタイルセレクト  
ボタン(0~9、+、-)
- アカンパニメントスタイルリスト  
(00~99)
- アカンパニメントパートボタン  
(ベース、コード1、コード2、リズム)
- リズムコントロール  
テンポ(▲▼)、シンクろスタート、  
スタート、ストップ、イントロ/エン  
ディング、イントロ/フィリイン1~3
- カスタムドラマー  
フロگرام、プレイ、クリア、シンクろブ  
レイク、アクセント用鍵盤(B5共用)、  
キャンセル用鍵盤(C<sub>6</sub>)
- ドラムパッド  
打楽器ボタン(8種類)  
・リムショット/バッドラム/アゴゴ(ロ  
ー)/コンガ(ロー)/人の声(ハー1)  
・ロータム(ノーマル)/ロータム(シン  
セ)/アゴゴ(ハイ)/コンガ(ハイ)/人  
の声(フェー1)  
・ミッドタム(ノーマル)/ミッドタム  
(シンセ)/クワイカ(ロー)/ティンバ  
ル(ロー)/■のクラクション  
・ハイタム(ノーマル)/ハイタム(シン  
セ)/クワイカ(ハイ)/ティンバル(ハ  
イ)/ピストルの発射音  
・ハイハット(クロース)/スネアドラム  
/カバサ/ボンゴ(ハイ)/ガラスの割れ  
る音  
・ハイハット(オープン)/ライドシンバ  
ル/クラッシュシンバル/カウベル/  
ハンドクラップ
- 割り付け選択  
バリエーション1~4、  
サウンドエフェクト
- オートベースコードスイッチ  
オフ/シングルフィンガー/フィンガー  
ドスプリット
- ミュージックプログラマー  
オーケストラレコード、オーケストラ  
プレイ、アカンパニメントレコード、  
アカンパニメントプレイ
- その他コントロール  
パワースイッチ、トランスポーズ(▲▼)、  
ピッチ(▲▼)、ソロスタイルプレイ、  
デモンストレージョン、MIDI
- ディスプレイ  
2桁LEDディスプレイ(ボイス、ピッチ、  
トランスポーズ、ボリューム)  
3桁LEDディスプレイ(アカンパニメン  
トスタイル、拍子、テンポ、ボリューム)
- 付属端子  
ヘッドホン/AUX出力端子、MIDI端子  
(IN, OUT)、電源アダプター接続用端子
- メインアンプ  
ステレオ、2.5W×2
- スピーカー  
12cm(4Ω)×2
- 定格電源  
DC9V・電源アダプター・PA-4  
単1乾電池8本
- 消費電力  
電源アダプター使用時: 7.5W  
乾電池使用時: 3.8W
- 外装仕上げ  
スチロール樹脂・アクリルラッカー塗装
- 寸法(前面立て取り外し時)  
(開口)95mm×(奥行)365mm×(高さ)123mm
- 重量  
6.6kg(乾電池重量含まず)
- 付属品  
電源アダプター・PA-4、前面立て

### 3. おかしいな?と思ったら

おかしいな?と思った時は、この表を見てください。

現象	原因	解決法
パワースイッチをオンまたはオフにした時、 “ポツン”と音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
スピーカーから全く音が出ない。	音量が下がっている。	マスターボリュームを上げてください。
	ヘッドホン/AUX出力端子にプラグを差しているため。	プラグを抜いてください。
	ローカルコントロールオフになっている。	ローカルコントロールオンに戻してください。 (31ページ参照)
リズムがスタートしない。リズムの音が出ない。	外部クロックの状態になっている。	内部クロックの状態に戻してください。 (31ページ参照)
	アカンパニメントボリュームが下がっている。	アカンパニメントボリュームを上げてください。
	スタートさせていない。	スタートボタン等を押してください。
低音側の音が出ない。	シンクロススタート待ちの状態になっている。	オートベースコード用鍵盤を押してください。
	アカンパニメントボリュームが下がっている。	アカンパニメントボリュームを上げてください。
	高音側を弾いている。	オートベースコード用鍵盤を押してください。
自動伴奏されない	シングルフィンガーまたはフィンガードの状態になっていない。	オートベースコードスイッチを、シングルフィンガーまたはフィンガードの位置にしてください。
	フィンガードの状態で、シングルフィンガーの押さえ方をしている。	18ページの“フィンガードコード一覧表”等をご覧ください。
途中から音階がおかしくなる。	オートベースコード用鍵盤を押している。	シングルフィンガーやフィンガードの状態になっているため、そのようになります。
思ったとおりの和音が出ない。	指を離さないうちに、次のコードにしようとしている。	鍵盤から一旦指を離したうえで、次の鍵盤を押すようにしてください。
	正確に押さええていない。	15ページの“シングルフィンガーコード一覧表”、19ページの“フィンガードコード一覧表”等をご覧ください。
ソロスタイルプレイ機能をオンできない。	ミュージックプログラマーが録音または再生状態になっている。	ソロスタイルプレイ機能とミュージックプログラマー機能を同時に使うことはできません。
スプリット機能をオンできない。	ソロスタイルプレイ機能を働かせている。ミュージックプログラマーが再生状態になっている。	スプリット機能は、ソロスタイルプレイ機能やミュージックプログラマー機能を働かせている時、働かせることができません。
押さえた鍵盤の数だけ音が出ない。	同時に鳴らせる音数には制限があります。	制限数以上の音は、鳴らないしくみになっています。
選んでいない音色で鳴る。	オートベースコードスイッチをオフ以外の位置にしている。	低音側の音色は高音側の音色と異なります。
効果がかからないパートがある。	かかるパートが決まっているため。	リズム音、コード音、ベース音には、ほとんどの場合効果はかかりません。
記憶させておいたデータが消えている。	電源を切った。	電源を切ると消えます。
パネル上のランプが暗くなったり、誤動作がおきたりする。	乾電池が寿命のため。	6本共新しい乾電池と交換してください。

### 4. 発音数一覧表

ここでは、各モードにおける同時発音数を表にします。

○:機能オン、×:機能オフ

リズム	シングルフィンガー/フィンガード	スプリット	同時発音数
×	×	×	演奏8(4)音、打楽器ボタン3音
○	×	×	演奏8(4)音、リズム4音、打楽器ボタン3音
○	○	×	高音側4(2)音、コード8音、ベース1音、リズム4音、打楽器ボタン3音
×	○	×	高音側4(2)音、コード8音、ベース1音、打楽器ボタン3音
○	×	○	高音側4(2)音、低音側4(2)音、リズム4音、打楽器ボタン3音
×	×	○	高音側4(2)音、低音側4(2)音、打楽器ボタン3音

( )内の音数は、デュアルボイスオン時またはアンサンブルオン時の最大同時発音数を表わします。

ただし、デュアルボイスとアンサンブルの両方がオンの時は、さらにその半分になります。

# 5.アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

●本機の保証は、保証書によりご購入から満1年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。

(日本国内のみ有効)

●保証期間の1年を過ぎても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か下記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

## ■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

## ■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“おかしいなと思ったら”の項をいま一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと、故障でない場合でも点検代を申し受けしますのでご注意ください。)

## ■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号などをハッキリお知らせください。またお勤めで往園ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万が一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。)

## YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お預り窓口)

北海道電気サービスセンター 〒054 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内

TEL.011-513-5036

仙台電気サービスセンター 〒983 仙台市若林区卸町5-7

仙台卸商共同配送センター3F

TEL.022-236-0249

東京電気サービスセンター 〒211 川崎市中原区本月1184

TEL.044-434-3100

新潟電気サービスステーション 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F

TEL.025-243-4321

浜松電気サービスセンター 〒435 浜松市上西町911 ヤマハ浜宮竹工場内

TEL.0534-65-6711

名古屋電気サービスセンター 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2

ヤマハ名古屋流通センター

TEL.052-652-2230

大阪電気サービスセンター 〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内

TEL.06-877-5252

京都電気サービスステーション 〒600 京都市下京区七条通南之町東入材木町483

第2マスイビル3F

TEL.075-351-6470

神戸電気サービスステーション 〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ神戸戸内

TEL.078-321-1195

四国電気サービスステーション 〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内

TEL.0878-22-3045

広島電気サービスセンター 〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39

TEL.082-874-3787

九州電気サービスセンター 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

TEL.092-472-2134

(本社)

電気サービス部 〒435 浜松市上西町911

TEL.0534-65-1158

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

# YAMAHA

YAMAHA CORPORATION

## ヤマハ株式会社

北海道支店 LM営業課 〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター  
TEL.011-512-6113

仙台支店 LM営業課 〒980 仙台市青葉区大町2-2-10  
住友生命仙台青葉通ビル  
TEL.022-222-6140

東京支店 特販営業課 〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル  
TEL.03-572-3130

名古屋支店 LM営業課 〒460 名古屋市中区錦1-18-28  
TEL.052-201-5150

大阪支店 特販営業課 〒542 大阪市中央区南船場3-12-9  
心斎橋ブラザビル東館  
TEL.06-252-7491

広島支店 LM営業課 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18  
TEL.082-244-3749

九州支店 LM営業課 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL.092-472-2130

本社 電子楽器事業部 〒430 浜松市中沢町10-1  
ポータブル営業課 TEL.0534-60-3271

YAMAHA feelin' club



T4960693042397